

スカッポ・スカンポ

[タデ科 ソバカズラ属]

ケイタドリ (学名: *Fallopia japonica var. uzenensis*)

オオイタドリ (学名: *Fallopia sachalinensis*)



▲ケイタドリの葉



▲群生するオオイタドリ

只見町でスカッポやスカンポと呼ばれている植物があります。これはケイタドリとオオイタドリのことで、「酸味のある、折るとポコッと音がする植物」というのが語源といわれています。

ケイタドリはイタドリの変種で、葉裏に毛が生えているためこのような名前がつけました。ケイタドリの葉は付け根が切りとったように平らになっているものが多く、オオイタドリの葉はハート形であるという点で両種は区別できます。また、葉の大きさもケイタドリが手のひら大ほどなのに対し、オオイタドリは人の顔以上の大きさになるものも多く、全体の雰囲気かくらんちが明らかに異なります。この2種は攪乱地せんくしよくふつに真っ先に生える先駆植物であり、本覧で3月号から続けて掲載している日本海要素植物です。

町内ではどちらも道ばたや川の法面、山奥までいたるところで見ることができますが、やや湿り気のある場所では旺盛おうせいに茂っているのを見ることができます。さらにオオイタドリは山奥の沢沿いなどを好み、溪流で大きな葉を広げて群生しています。

スカッポは、子供の頃おやつ代わりにした覚えのある方もいるのではないのでしょうか。生食もされるスカッポですが、有機酸の他にシュウ酸も含まれますので、生での多食には注意が必要です。

企画展示

「多雪地帯に生きる日本海要素植物」

期 間: 7月17日(月・祝) まで開催

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

ブナセンター講座

「雪を味方につけた植物たち」

日 時: 7月15日(土) 13:30~15:00

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

講 師: 加藤英寿氏(首都大学東京・牧野標本館)

夏の観察会

「夏のブナ林で日本海要素植物を観察しよう！」

日 時: 7月16日(日) 10:00~12:00

観察地: 蒲生集落あがりこブナの森

集 合: 会津蒲生岳駐車場(9:30集合)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください